



μ C3 /Standard(+M) 評価版ガイド

**Freescale i.MX6 SDL/DQ Evaluation Kit 編**

2015 年 08 月    イー・フォース株式会社

## 1. はじめに

このたびは、μ C3 /Standard(+M)評価版をお試しいただき、ありがとうございます。本書では評価版パッケージのインストール手順、パッケージの概要を説明しています。

なお、μ C3/Standard(RTOS)の詳細については、評価版のインストール後、Document フォルダにインストールされるユーザーズガイドを参考にして下さい。

### 制限事項

添付しているプログラムを製品評価以外の目的で使用することはできません。本評価版は製品版とは異なり、RTOS のソースコードが含まれないほか、下記の機能制限がなされています。

#### RTOS の ID 数の制限

タスクの個数：8（製品版では 255）

その他のオブジェクト個数：8（製品版では 999）

※ 参考情報

IDの詳細については、μ C3/Standardユーザーズガイド「3.3.1 オブジェクトの ID番号上限のコンフィグレーション情報」を参照してください。

本評価版を使用するにはコンパイラとデバッガが別途必要です。

## 2. パッケージの概要

### インストーラ

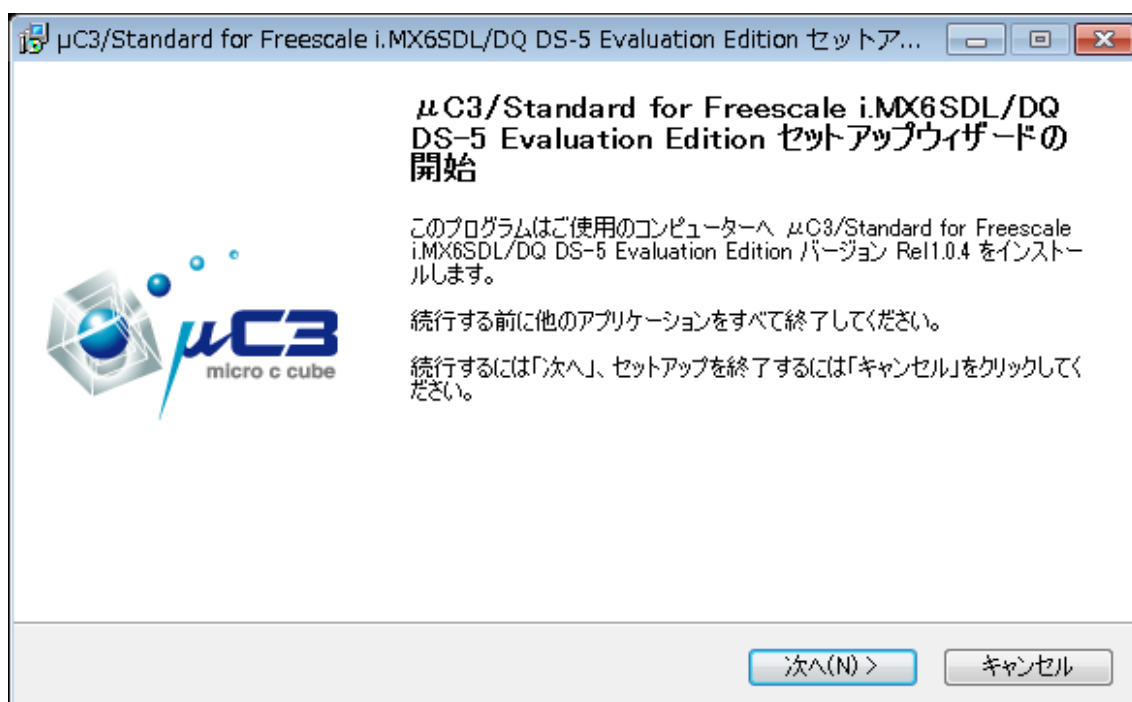
μ C3 /Standard(+M) 評価版では、下記インストーラが用意されています。

ARM 社 Development Studio 5 向け

→uC3Std\_imx6\_ARMC\_EVAL\_Rxxx.exe … μ C3 /Standard

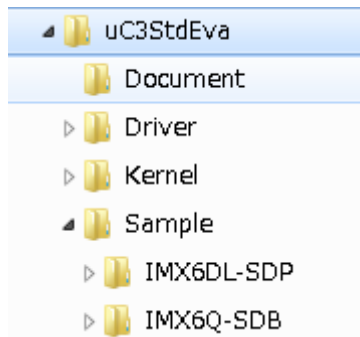
uC3StdM\_imx6\_ARMC\_EVAL\_Rxxx.exe … μ C3 /Standard+M

インストーラを起動すると下記インストール画面が表示されるので、インストーラのメッセージに従い、評価版パッケージをインストールしてください。



## **フォルダ構成**

インストールが完了すると、評価版のパッケージは、以下の構成となります。



## **サンプルプログラムの実行**

μ C3/Standard(+M)では、評価ボードをターゲットとしたサンプルを用意しています。サンプルプログラムの実行方法は、「¥uC3StdEva¥Sample」内の各サンプルの Readme ファイルを参考にして下さい。